

1 請願審議概況

今国会に紹介提出された請願は、332件（46種類）であり、このうち件数の多かったものは、「現行の健康保険証を残すことを求めることに関する請願」44件、「国・自治体の責任を堅持・拡充し、保育・学童保育の基準・施策の抜本的改善と予算増額を求めることに関する請願」及び「全ての働く人たちの労働時間短縮と賃金引上げに関する請願」各25件、「健康保険証を継続して使用することを求めることに関する請願」及び「マイナンバーカード取得の強制に反対することに関する請願」各24件などであった。

各委員会及び憲法審査会の付託件数は、内閣38件、法務2件、外交防衛12件、財政金融52件、文教科学65件、厚生労働108件、農林水産1件、経済産業13件、国土交通2件、議院運営1件、政治改革12件、地方デジタル25件、憲法1件であった。

請願者の総数は46万631人に上っている。

請願書の紹介提出期限は、12月9日の議院運営委員会理事会において、会期終了日の5日前の同16日までと決定された。また、会期については同20日に衆参本会議において3日間の会期延長の議決がなされたが、短期延長のため、再受理は行わなかった。

12月24日、各委員会及び憲法審査会において請願の審査が行われたが、いずれも審査未了となった。